

# 道徳通信

愛西市立八開中学校  
令和3年12月8日  
青ブロック職員

## 📌「思いやりの心について、考えを深めよう」～道徳「旗」を通して考えました～

転校後まもなく交通事故に遭い、自宅療養中の少女は、新しい学校の友達にもなじみがなく、窓から見えるレモン色の旗を友達のように思っていました。ある日、一人のクラスメートがクラス旗を作るための布きれをもらいに少女の家を訪れ、少女は、寂しさを紛らわすために旗ばかり見ていることを打ち明けます。彼女は何かを考えていたようですが、何もないうまま数日が過ぎました。クラスメートに寂しい心を打ち明けたことを悔やんだ少女ですが、登校する前日に、いつものレモン色の旗のある場所にクラス旗を発見します。しかも、真ん中には少女が渡した布が縫い付けてありました。翌日、登校した少女を温かく迎えてくれたクラスメートの思いやりの心を知り、少女は「この町に引っ越してきてよかった」と心から思うのでした。

授業では、クラスメートと少女の気持ちについて考え、今後の学校生活で自分が実行したい「思いやりの行動」や大切にしたい「思いやりのあり方」について考えました。

●● ●●さん

仲良し関係なく心配したり、無意識に人を助けたりしたいと思った。

●● ●●さん

思っているだけじゃ相手にその思いは伝わらないので、相手に伝わるように話したり、行動したりすることが大事だなと思う。

●● ●●さん

無意識に、当たり前のことのように思いやりの行動をできたらいいなと思った。思いやりのあり方は全体的に暖かくあったらいいなと思う。

●● ●●さん

相手のことを考え行動し、自分がしてよかっただけでなく、相手にされてよかったと思わせるような行動が大切だと思った。

●● ●●さん

思いやりは、相手が自分の気持ちを明確に表したり、相手のことを考えたりしないとそこには辿りつけないのだと思いました。私は、自分の気持ちを言うのが恥ずかしいので言えないことが多いけど、たまには、言おうと思った。

●● ●●さん

ずっと思いやりとは自分が優しい気持ちを持って行動することだと思っていたけど、そうじゃなくて自分が行動して満足していても、相手がどう思っているのかは分からないというのを聞いて、思いやりは簡単にできそうに見えるけどもう少し責任を持たないといけないと思った。

●● ●●さん

何か見返りを求めて行動するのではなく誰かを思ってその人のために何かできるようになりたいと思った。人のためだけでなく、何か良いことをすると自分も清々しく、良い気持ちになるので自分のためにも誰かを思いやることを大切にしたいと思った。

●● ●●さん

思いやりとはお互いがお互いのために思ってお互いが幸せな気持ちになれることだと思う。クラス旗が掲げられる前の少女と友達の会話から、一方的な気持ちは相手に期待させたり、自分に失望されたりされるのだと思う。これらのことを無意識に意識しているから思いやりの心を持った行動は実行しにくく、恥ずかしいのだと思う。

